

あとがき

平成 30 年 6 月 20 日、当社は創立 100 周年を迎えました。諸外国に比して、いわゆる老舗企業が多いとされる我が国においても、100 年という節目の年を迎えられたことには一際感慨深いものがあります。本史編纂にあたり、40 年史から平成 20 年刊「最近 15 年の歩み」まで、当社社史全てをひもといってみました。早くも 50 年史には「さらに 100 年史に引きつがれ、いっそう輝かしい躍進の記録が書き加えられることを期待して云々」という記述があります。100 年企業は当時としては大いなる夢、といったところだったのでしょうか、実際にこうして 100 年史を発行することができたのも、数多の艱難辛苦を乗り越えてこられた諸先輩方の血の滲むような努力の賜物と、改めて頭の下がる想いでおります。

平成 25 年 6 月に 100 年史編纂委員会が設けられ、その後平成 27 年 2 月の 100 周年事業プロジェクトチーム発足に際して 100 年史編集委員会と改組、無事に発刊の日を迎えることができました。年史の体裁にも様々な形がありますが、本史は「通史」編と「テーマ史」編とに分けた構成になっています。「テーマ史」編には、100 年の間にあった象徴的な出来事、製品、技術等々に関して、それぞれ成功したこと、失敗したこと、あるいは真摯に反省しなければならぬことを問わずに、ありのままを詳述しました。次の 100 年に向けて、少しでも皆さんのお役に立てれば幸いです。

最後に、残念ながら本史刊行を待たずに鬼籍に入られた永淵澄夫さんを始めとする、快く取材や原稿執筆に応じてくださった先輩方は言うに及ばず、業務多忙にもかかわらず原稿執筆に取り組んだ現役の皆さん、細部に至るまでご指導いただいた大日本印刷株式会社の皆様に深く感謝を申し上げます。

平成 30 年 11 月

編集委員長 石井 明彦